

構造設計から部材提供までを一貫体制で行う

## 劣化対策と工期短縮を 可能にした鉄骨フレーム住宅

「JFE フレームキット<sup>®</sup>」は鉄骨フレーム材と構造設計、施工マニュアル、骨組を自動的に計算する専用ソフトをセットで提供するシステムです。

長寿命な溶融亜鉛めっき鋼板を素材とした鉄骨フレームは品質の安定した構法で、耐荷重は2×4工法の約2倍。100%ボルト接合で、容易に施工できる優れたものです。

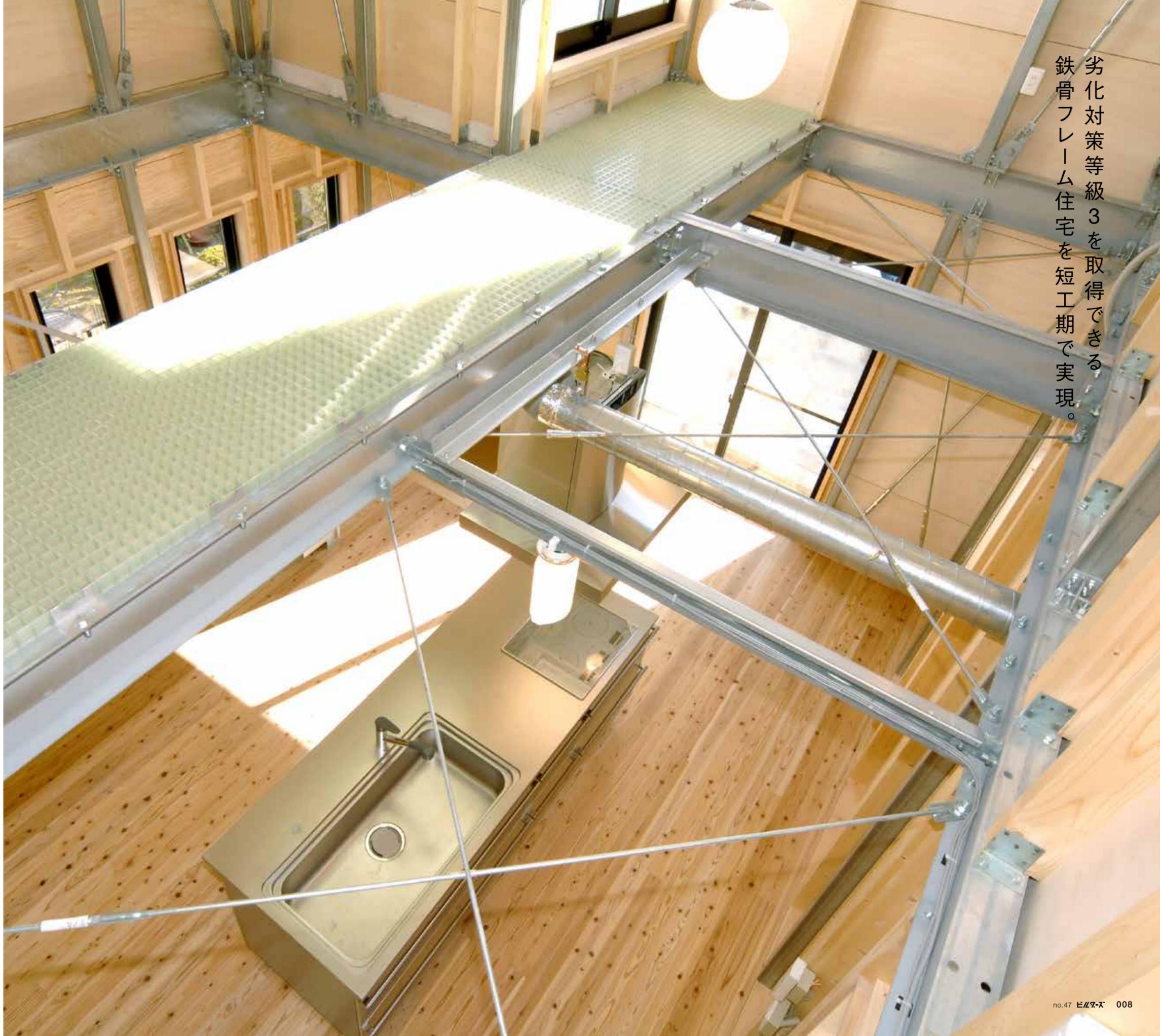
### 安全性と施工性を兼ね備えた独自の鉄骨フレーム

「JFE フレームキット<sup>®</sup>」は、木造軸組構法の柱や梁、筋かいなどを規格化された鉄骨構造に置き換えたものです。鉄骨による構造はハウスメーカーでも採用されていますが、本商品は“素材”となる溶融亜鉛めっき鋼板を製造するJFE鋼板から提供され、誰でも自由に使用できます。まず、設計者が基本プランを設計します。次に設計・建築概要データを「AI-FRAME」（フレームキット専用プログラム）に入力して理想的な骨組みを瞬時に計算・作図。それらをもとにJFE鋼板が構造計算して、図面と計算書および鉄骨加工データを作成し、フレームキットとして施工会社に納品する仕組みです。鉄骨プレカット部材のため工期短縮が可能。また、すべてボルト接合のため、溶接作業や専門工は不要です。フレームは劣化対策等級3の表示可能なめっきが標準仕様なので安心して住まえる住宅が実現します。



各部材は強度測定や耐力実験が行われており、安全性の高い鉄骨造建築を実現する。部材は発注から約40日で納品可能、建方は1週間で完了できる。共同住宅や店舗での用途であれば、早期開業で収入増につながる

フレームには軽量部材を採用。構造躯体の重量は約50kg/m<sup>2</sup>なので、重機の入らない狭小地での施工も可能。重量鉄骨造や鉄筋コンクリート造と比較しても基礎部分を小さくできるため、施工費や材料費を削減できる



劣化対策等級3を取得できる  
鉄骨フレーム住宅を短工期で実現。